

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立富士北麓駐車場
所管課 観光文化部 世界遺産富士山課
指定管理者 フジネット共同事業体
構成団体 株式会社富士観光開発、株式会社フォネット

1 指定管理者の推移

導入年度	平成26年度			委託料総額 (単位:円)	
指定管理者名	出資 法人	指定期間			
株式会社ピカ (H28.10.1に株式会社フジヤマ・クオリティ から社名変更)		H26.4.1	～ H31.3.31	5年	157,897,000
フジネット共同事業体		H31.4.1	～ R5.3.31	4年	113,351,546

2 施設の概要

所在地	富士吉田市上吉田字剣丸尾5597-84
設置年月日	平成23年7月1日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立富士北麓駐車場設置及び管理条例
設置目的	富士山を来訪する観光客の利便の増進を図るとともに、富士北麓地域の観光の振興に資するため。
主な業務の内容	(1)施設及び設備器具の維持保全業務 駐車場施設及び設備器具の維持保全業務を行う。 (2)富士北麓地域の観光案内業務 富士登山をはじめ、富士北麓地域を中心とした観光案内業務を行う。 (3)富士スバルラインマイカー規制期間中の駐車場の運営管理業務 富士スバルラインマイカー規制期間中の臨時駐車場としての料金徴収等の運営管理業務を行う。
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 88,710㎡(駐車場等 44,280㎡) ・駐車场面積 33,725㎡ 第1駐車場 15,930㎡、第2駐車場 8,935㎡ 第3駐車場 6,190㎡、第4駐車場 2,670㎡ ・観光案内所・トイレ面積 198㎡ ・バス乗降場、通路、浸透池等の面積 10,357㎡
備考 (改築工事等の状況、 一括管理施設等)	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和3年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
収入合計	33,013,543	33,127,738	33,302,212	25,513,543	27,564,922	
支出合計	31,111,982	32,742,503	32,357,728	23,798,076	25,045,003	
収支差額	1,901,561	385,235	944,484	1,715,467	2,519,919	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
利用実績	33,841台	34,901台	31,449台	3,731台	11,179台	駐車台数
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和3年度)

4月10日(土)・11日(日)にフジネット共同事業体は自然文化体験のルールとマナーを学び啓蒙する研修キャンペーンイベントを開催。1都7県総勢156名が参加し、成功裏に終了した。

11月27日(土)フジネット共同事業体は富士吉田商工会議所青年部と共にドライブインシアターを自主事業として実施し、350名(150台)を集客し、成功裏に終了した。

10月30日(土)・31日(日)にウルトラモーターフェスティバルを共催し、FMラジオ・ポスター・チラシ等に告知し、富士北麓駐車場の周知に努めた。

マイカー規制期間中を含む利用客の荷物保管場所としてコインロッカーを設置し、利用者満足度の向上につなげた。

昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため登山道が閉鎖となり、同時に山小屋も閉鎖となり、マイカー規制期間中の利用者数が激減したが、本年度は感染予防対策を徹底しつつ、登山及び山小屋営業再開となったため、来場車数は11,179台で、昨年度の3,731台と比較すると、299.62%増となった。

富士北麓地域の観光情報を取扱う案内所としての利用者も増加しており、今年4月から11月までのパンフレット配布部数は1,700部を上回った。

アンケート回答者からは、98%の割合で施設全体として「満足」、または「どちらかといえば満足」という結果を得られた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和3年度)

業務仕様書等に基づき、的確に管理・運営を行っている。

新型コロナウイルス感染症の影響により2年ぶりの富士山開山となったが、駐車場利用実績は令和元年度の31,449台に対して令和3年度は11,179台にとどまるなど、令和2年度からは大幅に増加したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の水準までは戻らなかった。

そのような状況の中、所管課としては自主事業の積極的な実施を依頼してきたところであり、利用者の利便性向上のためのコインロッカーの設置、ドライブインシアター、モーターフェスティバルを実施し、施設の利用促進に努めている。また、新たに実施した研修キャンペーンについては、普段は駐車場として機能していない芝生広場を有効活用したもので、多くの方に参加していただいております。

令和4年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響がこれまでよりも小さくなることを見込まれることから、さらなる利用実績の増加を目指して取り組んでほしい。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和3年度)

今後、新型コロナウイルス感染症の影響がどの程度になるのか読めない部分はあるが、これまでと同様に臨機応変に運営体制を調整することで適正に対応していく。

令和4年度は自主事業を積極的に実施することとし、原則自動車等の乗り入れを禁止している第三駐車場についても、イベント等を積極的に開催できるよう情報の周知を進めていきたい。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

施設名 山梨県立富士北麓駐車場
 所管課 観光文化部 世界遺産富士山課
 指定管理者 フジネット共同事業体
 構成団体 株式会社富士観光開発、株式会社フォネット

1 利用状況 (単位:台)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	駐車台数	33,841	34,901	31,449	3,731	11,179
	利用者数合計	33,841	34,901	31,449	3,731	11,179
	目標値	27,475	27,920	27,636	29,017	2,588
	実績/目標割合	123.2%	125.0%	113.8%	12.9%	432.0%
	目標値の設定方法	過去の実績及びマイカー規制日数から積算 R2年度3,731台×43日間(R3)/62日間(R2)=2,588台				
利用率	稼働率等(利用率)	48.7%	50.3%	45.3%	5.5%	23.6%
	稼働率等(利用率)の算定方法	駐車台数/駐車可能台数(1,102台×マイカー規制期間日数)				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	山梨県富士北麓公園
----------	-----------

3 補修工事等の状況(令和3年度) (単位:円)

管 観光案内所 自動ドア点検・修理代	10,780
--------------------	--------

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和3年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
3	随意契約	販売標準価格×25%	364,792	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入	A 収入額計	33,013,543	33,127,738	33,302,212	25,513,543	27,564,922
	指定管理委託料	32,611,000	32,611,000	32,501,000	25,357,546	26,970,000
	自動販売機収入	402,543	516,738	649,243	154,282	364,792
	その他			151,969	1,715	230,130
支出	B 支出額計	31,111,982	32,742,503	32,357,728	23,798,076	25,045,003
	人件費	8,164,091	7,220,775	7,633,745	5,393,284	5,791,921
	修繕費	291,000	130,190	37,748	60,049	10,780
	光熱水費	1,385,631	1,615,326	1,353,357	904,874	607,860
	原材料費					153,559
	消耗品費	99,197	105,055	199,351	93,347	115,971
	印刷製本費	327,000	638,000	90,720		154,000
	通信運搬費	123,027	128,172	82,504	91,228	111,840
	広告料	458,000	434,000	518,980	279,470	277,480
	保険料	204,005	232,481	190,950	230,510	239,980
	使用料及び賃借料	403,500	403,500	100,498	27,720	40,590
	備品購入費	86,834	98,813	93,297	72,567	60,870
	手数料				1,100	
	雑費	73,446	152,492	11,435	18,995	115
	その他(消費税)	1,684,732	1,873,278	924,963	723,085	837,553
	外部委託費	17,811,519	19,710,421	21,120,180	15,901,847	16,642,484
	清掃業務	683,000	640,000	748,154	526,350	277,200
	芝生管理業務	2,100,000	2,100,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000
	駐車場交通誘導等業務	11,908,225	13,605,466	14,867,409	11,028,020	10,904,657
	看板、駐車枠設置業務	465,000	465,000	418,910	517,000	643,500
	仮設照明設置等業務	561,391	550,000	594,000		594,000
	仮設トイレ等設置業務	588,420	575,820	497,987		
	各種設備保守点検等	1,505,483	1,774,135	1,287,042	1,592,314	2,198,127
	その他			706,678	238,163	25,000
外部委託比率	57.2%	60.2%	65.3%	66.8%	66.5%	
県への納付金						
収支差額(A-B)	1,901,561	385,235	944,484	1,715,467	2,519,919	

一台当たり指定管理者委託料*	963.7	934.4	1,033.5	6,796.4	2,412.6
----------------	-------	-------	---------	---------	---------

* 指定管理者委託料÷利用台数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
C 収入額計					214,860
D 支出額計					
収支差額(C-D)					214,860

(参考)使用料の県への納付状況

項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
富士北麓駐車場使用料	34,918,115	36,768,135	31,449,000	3,731,000	11,179,000
合計	34,918,115	36,768,135	31,449,000	3,731,000	11,179,000

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

7 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>年間作業実施計画に基づき適切に維持管理業務を行った。</p> <p>芝生の維持管理については当社グループの専門部門に再委託し、施肥、消毒など芝の適切な管理を行った。</p> <p>また、除草作業については、業者に依頼し、実施したが、それ以外にも、適宜、当社グループ内で実施したため、通常より多く作業を進め、適切な管理を行った。</p>	<p>法定点検業務等施設の維持管理業務が、事業計画に基づき適切に実施されている。</p> <p>第三駐車場(芝生広場)については、施肥、消毒等により適切に保護・管理されている。</p>
運営業務	<p>業務計画書に基づき、予定通りの運営を行い、適正に業務を執行した。</p>	<p>業務計画書に基づき、適切な業務運営が行われた。</p>
利用状況	<p>昨年度はコロナ感染症拡大防止のため登山が禁止となり、同時に山小屋も閉鎖となり、マイカー規制期間中の利用者数が激減しましたが、本年度は感染予防対策を徹底しつつ、登山及び山小屋営業再開となったため、来場車数は11,179台で、昨年度の3,731台と比較すると、299.62%増となった。</p>	<p>マイカー規制期間中の利用状況について、富士山が開山されたことにより登山客が増加したことから、令和2年度と比較すると大幅な利用増となった。</p> <p>ただし、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていなかった令和元年度以前と比較すると約1/3の利用にとどまっている。</p> <p>令和4年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響がこれまでよりも小さくなるが見込まれることから、さらなる利用実績の増加がのぞまれる。</p>
収支状況	<p>設備管理や当社グループのスケールメリットを活かし、芝生管理や除草作業、その他修繕等の経費コストの圧縮に繋げた。</p>	<p>グループ内の担当部門を活用することにより、芝生管理等のコスト縮減に努めている。</p>
自主事業	<p>利用客の荷物保管場所として、コインロッカー(2列×2段×3台=計12扉)を引き続き設置し、利便性を図るとともに、利用者満足度の向上につなげた。</p> <p>4月10日(土)・11(日)に自然文化体験のルールとマナーを学び啓蒙する研修キャンプイベントを開催。1都7県総勢156名が参加し、成功裏に終了した。</p> <p>10月30日(土)・31日(日)にウルトラモーターフェスティバルを共催し、FMラジオ・ポスター・チラシ等に告知し、富士北麓駐車場の周知に努めた。</p> <p>11月27日(土)に富士吉田商工会議所青年部と共にドライブインシアターを自主事業として実施し、来場者350名(105台)を集客し、成功裏に終了した。</p>	<p>昨年度に引き続き、利用者の利便性向上のためのコンロッカーの設置、ドライブインシアター、モーターフェスティバルを実施し、施設の利用促進に努めている。</p> <p>また、新たに実施した研修キャンプイベントについては、普段は駐車場として機能していない芝生広場を有効活用したもので、多くの方に参加していただき、評価できる。</p>
利用者満足度	<p>アンケート回答者からは、98%の割合で施設全体として「満足」、または「どちらかと言えば満足」という結果を得られた。引き続き、利用客へのサービスや施設整備、清掃に力を入れていく所存である。</p>	<p>アンケート回答者のほぼ100%に満足感を与えるなど、観光案内所職員の対応は評価できる。</p> <p>利用者の利便性向上のため、アンケートに寄せられた要望に対応するなど、引き続き満足度の向上を図って欲しい。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

8 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
施設の利用 促進業務	<p>施設の利用促進を図るため、富士北麓地域の周遊観光パンフレットや富士登山情報パンフレット等を1,795部配布した。</p> <p>また、各種問い合わせに対しては、県内観光情報を積極的に周知を行うなど、2,438件の対応を行った。</p> <p>合計4,233件となり、目標を上回る結果となった。</p>	<p>令和4年度以降はコロナ感染症の影響がこれまでよりも小さくなるが見込まれることから、さらなる利用実績の増加がのぞまれる。</p> <p>更なる年間利用者数の増加を図るため、パンフレット等の配布に加え、SNSを活用したイベント等の広報も併せて行う。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和3年度事業分)

9 管理体制(組織図)

令和3年4月1日現在

